マップNo.5

西播磨の山城

NISHIHARIMA MOUNTAIN CASTLE

ちょうずいじょう

長水城

（別称：朝水城）

宍粟市

180min.(往復)

見どころポイント（山城ピクトグラム）

特におすすめ

眺望良好

ネットワーク性

石垣（いしがき）

堀切（ほりきり）

合戦舞台

標高	584m
体力度	★★★★☆
技術度	★★★★☆
対象	中・上級者
駐車場	伊沢の里駐車場をご利用いただけます。
トイレ	伊沢の里ふるさと広場内
備考	コースMAPのP1駐車場まで車で行くこともできます。

長水城の詳細はコチラ！山城に登っている動画もcheck

【観光案内】しそう森林王国観光協会　TEL.0790-64-0923

概 要

主な城主：宇野政頼、宇野祐清

標　　高：584m

遺　　構：郭、石積、堀切

宍粟市山崎町の中心市街地から北西約5キロ、五十波・宇野地区にまたがる標高584メートルの長水山（ちょうずいさん）山頂に築かれた城です。西播磨の山城でも比高が高く、急峻な地形を巧みに利用した堅固な構造となっています。現在は信徳寺本堂が建つ頂上部に石垣で囲まれた主郭を置き、東西約200メートル、南北約500メートルの尾根筋には複数の郭（くるわ）や堀切等の遺構が残されています。西麓の蔦沢小学校付近は大手口の居館（きょかん）跡で、周辺に残る殿町、町屋敷などの地名から、初期的な城下町があったと推測されています。山頂からは山崎の町並みや、宇野氏のもう一つの拠点・篠ノ丸城跡、羽柴秀吉が本陣を置いたと伝わる聖山城跡、遠くには瀬戸内海が望めます。

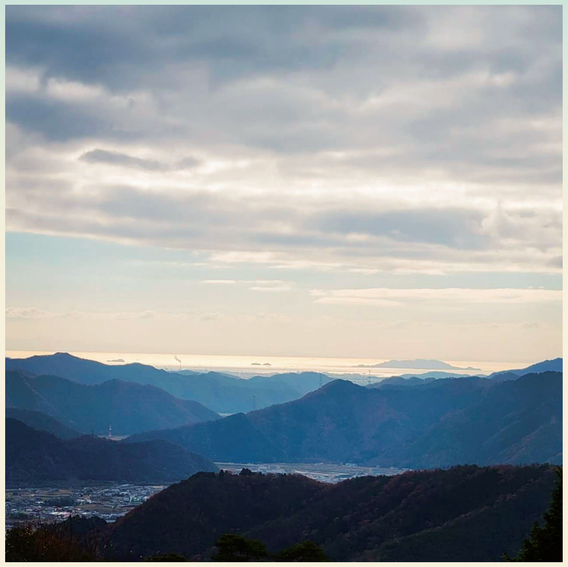
【歴 史】

江戸時代に編さんされた『宍粟郡守令交代記』によれば、南北朝期に赤松則祐（あかまつそくゆう）によって築かれ、兄範資（のりすけ）の子孫である広瀬氏が代々居城したとされています。嘉吉の乱（1441）でいったん落城したあと、応仁の乱（1467）以降は赤松氏の一族である宇野氏が防備に優れたこの城を本拠にしたと考えられています。

戦国期、織田信長の将である羽柴秀吉が播磨に侵攻すると、当初、宇野祐清（うのすけきよ）父子は織田方についたものの、天正6年（1578）の上月城の戦いで毛利方に寝返ります。しかし、毛利方からの援軍は得られず、三木城や英賀城を攻略した秀吉の軍勢によって、天正８年（1580）に篠ノ丸城とともに落城しました。宇野氏の滅亡後、宍粟の地は神子田正治、次いで黒田孝高（官兵衛）の領地となりますが、江戸時代はじめに池田輝澄が平城である山崎城を築いたことで、長水城はその役割を終えました。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205　兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25　TEL 0791-52-2144

写真



長水山の山頂から瀬戸内海を望む

LET'S GO YAMAJIRO

管内の主な山城

2026年6月改訂

登山口までのアクセス

車の場合

中国自動車道『山崎IC』 → 約10分 → 伊沢の里 → 車で約10分 → コースマップP1 林道脇駐車場 → 長水城登山口

バスの場合

JR姫路駅 → 山崎行き 約1時間 → 山崎 → 徒歩約20分 → 伊沢の里 → 長水城登山口

バスの場合

神姫バス三宮バスターミナル → 高速バス 約1時間30分 → 山崎 → 徒歩約20分 → 伊沢の里 → 長水城登山口

※伊沢の里からP1まで車で行くこともできます。※林道なのでお気をつけください。
※P３へは鳶沢小学校の校門のすぐ北から進入できます。

登山の装備と持ち物チェックリスト（一例）

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

- ☐ タオル
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 雨具（カッパ等）
- ☐ 絆創膏
- ☐ 着替用肌着
- ☐ 虫除けスプレー
- ☐ 水・飲料
- ☐ 登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

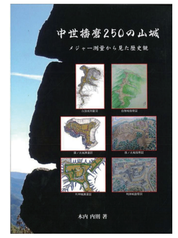
西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍 「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則（きうちただのり）氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城（りかんじょう）、篠ノ丸城（ささのまるじょう）の想像復原図などが追加掲載された改訂版。



西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城　西播磨遊記　Instagram　X　You Tube

⚠山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

⚠ヤマビル（6月～9月は特に注意）

- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
- 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
- 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

⚠スズメバチ（7月～10月は特に注意）

- 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
- スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
- 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

⚠毒蛇（マムシ・ヤマカガシ）

- 藪や茂みに入らない。
- 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

⚠マダニ

- マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は自分で除去せず医療機関（皮膚科等）を受診しましょう。
- ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間は様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

⚠クマ

- クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
- 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
- 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように！

⚠毒キノコ

- 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
- 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
- 山でキノコは採らない、食べない！を徹底しましょう。

テングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ
日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則

原則1 採らない！
原則2 食べない！
原則3 売らない！
原則4 人にあげない！